国東えんげき工房　アストくにさき初公演

時空（とき）わたりのバス ～あやかし経由くにさき行き～

　祖父の住む国東に引っ越してきた少女“あやっぺ”と姉の“かしお”が、不思議なバスに乗って国東の昔話の世界を旅するファンタジー演劇。
　12月４日のアストくにさきでの公演に、多くの観客が詰めかけました。

国東で創（つく）り 国東で観（み）る

ここから始まる、第一歩――

KUNISAKI ENGEKI KOUBOU 劇団員募集！

　国東えんげき工房では、劇団員を募集しています。役者になりたい人はもちろん、音響や照明、道具作りに関わりたい人も大歓迎。10～60代の個性豊かなメンバーが、「国東で創り、国東で観る」をモットーに楽しく演劇を学んでいます。

問　社会教育課　管理係
　☎ 72-2121

河野 圭杜（けいと） さん（国東高校3年）

かまずにセリフが言えて良かったです。演劇でたくさんの大切な仲間と出会うことができました。将来は役者になりたいです。

菅嶋 諭（さとる） さん（安岐町下山口）

演劇の面白さを改めて実感しています。移住者として、国東の良さや魅力を演劇でPRしていきたいです。

金子 咲菜（にこな） さん（志成学園3年）

主人公のあやっぺを演じました。今日の出来は95点。緊張したけど、うまくできました。演劇でみんなを笑顔にしたいです。

有松 菜月（なつき） さん㊧（国東中2年）
尾立 悠美香（ゆみか） さん（国東中1年）

友達や家族が見に来てくれて、うれしいです。次の公演に向けて、もっと演技力を磨きます。

国東でもここまでやれることが証明できた

国東えんげき工房・座長
衣笠 邦彦 さん
（国見町伊美）

　コロナ禍で演劇をすることに逆風が吹く中、皆さんのご支援で何とか国東えんげき工房を立ち上げることができました。8月から稽古を重ねてきた初公演を成功させることができ、座長としてうれしく思っています。
　公演後、満員の会場からの大きな拍手を浴びた時、目頭が熱くなりました。国東でもここまで本格的な演劇がやれて、みんなに見せることができるんだ――。そのことを証明できたんじゃないかと思います。関係者の皆さま、来場者の皆さま、本当にありがとうございました。

観客の大きな拍手が作品の出来を表している

劇団青年座・演出家
磯村 純 さん

　劇団青年座で演出家をしています。平成27年の国東演劇講座の開講時から講師をしており、国東えんげき工房でも引き続き講師として劇団員の皆さんの指導をしています。
　演劇の素晴らしさは、全員で一つになって舞台を作り上げ、観客に感動を届けることにあります。今回、劇団員の皆さんはとてもよい演劇を作り上げてくれました。たくさんのお客さんが見に来てくれて、最後に大きな拍手を送ってくれた――。その事実が、この作品の出来を表してくれていると思います。

1

2

3

1 令和4年4月の国東えんげき工房の発足式。
2 初公演「時空わたりのバス」は、劇団員全員で考えたオリジナル作品です。
3 動作やセリフ一つ一つにプロの指導が入ります。初公演前日の練習は7時間に及びました。